

## ご挨拶



一般社団法人  
保健医療福祉情報システム工業会  
会長

ながほり いずみ

**長堀 泉**

富士通Japan(株)  
代表取締役社長

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）会員の皆様におかれましては、平素よりJAHIS活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度よりJAHIS会長を務めさせていただくこととなりました富士通Japanの長堀でございます。

皆様ご存じのとおり、世界に先駆けて超高齢社会を迎えた日本では、少子高齢化や医療費の逼迫など、様々な課題が顕在化し生活に影を落としています。我々が貢献してきた保健医療福祉の分野でも、これらの課題を解決することが急務となっています。

政府では、データヘルス改革として、国民一人一人が健康情報を主体的に管理・活用し、医療従事者と連携しながら、予防・治療・介護を一体的に行うことで、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図るデジタル社会を強力的に推進されてきました。2024年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024（骨太2024）」では、「医療DXの推進に関する工程表」に基づき、「全国医療情報プラットフォーム」を構築するほか、電子カルテの導入や電子カルテ情報の標準化、診療報酬改定DX、PHRの整備・普及を強力的に進めるとあります。また同時に閣議決定された「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版」では、その稼働時期が具体的に明記され、待ったなしの状況です。AIホスピタルの社会実装の推進や、医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の着実な実施、電子処方箋の全国的な普及拡大など、今後も医療DXが強力的に推進されるものと考えております。

JAHISは、健康で豊かな国民生活を支える保健医療福祉情報システムの実現を目指して、「データ循環型社会の実現」をコンセプトに「2030ビジョン」を掲げ、その中で、健康・医療・介護分野のデータを蓄積・循環し利活用することで、データ提供者であり所有者でもある国民が利益を享受し、「健康で安心して暮らせる社会」を描き邁進してきましたが、これは政府が進める取組みと相まっていると考えております。JAHISは今年で設立30周年を迎えますが、Beyond2030と

いう新たな未来を目指して更なるビジョンを策定していきたいと考えております。

データヘルス改革・医療DXは単なるシステムの更新ではなく、国民一人一人が自分自身の診療データや健診結果などを主体的に管理し活用していくといった、データを起点とした考え方であり、その点では大きな転換期とも言えます。「データヘルス改革・医療DX」を成功させ、日本の社会課題解決の一助となれるよう、今後もコンプライアンスを遵守しつつ、各省庁、学会等の関係団体と連携しながら、共通基盤整備、標準化の推進など積極的な対応を行ってまいります。

皆様の一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。